

川崎市商店街実態調査及び
課題解決支援事業

報告書

〔概要版〕

平成 23 年 3 月

川 崎 市

事業目的

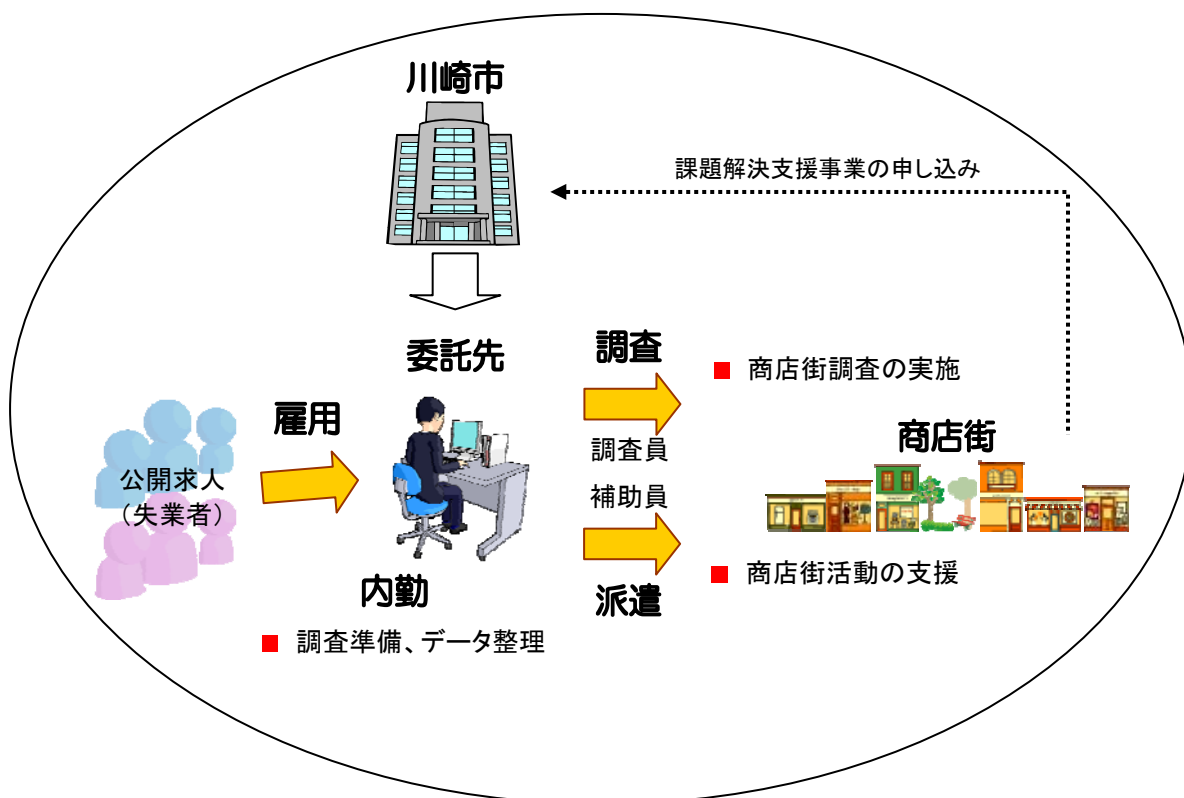
「川崎市商店街実態調査及び課題解決支援事業」は、以下の4つの調査及び商店街支援事業によって構成されている。

- ①消費者行動実態調査
 - ②商店街等業種構成調査
 - ③来街者アンケート調査
 - ④商店街課題解決支援事業
- } 商店街実態調査

商店街を取り巻く環境は、消費者ニーズの多様化、低価格志向の増大、大型店・専門店の出店が増加し、大変厳しい状況にある。そのため調査としては、商店街の現状を把握することにより、今後の商店街振興推進のための基礎資料とするほか、マーケティングの視点からも地域の顧客特性等の実態を把握し、商店街活性化の一助とすることを目的としている。

また課題解決支援事業は、商店街が現在抱えている様々な課題に対応するため、補助員を派遣し、その解決を図り、商店街の活性化を図るものである。

なお川崎市では、消費者行動実態調査は、平成5年度・10年度（消費購買行動調査）、16年度（購買スタイル実態調査）に、商店街等業種構成調査は、平成14年度（商業地図データベース作成事業）に類似の調査を実施している。



調査等の結果概要

本事業は、国の緊急雇用創出事業臨時特例交付金を活用した緊急雇用創出事業臨時特例基金事業であることから、受託事業者の㈱価値総合研究所において失業者を新規に雇用し、各種調査業務（データの収集）、データ入力、補助員として商店街での課題解決への従事などを実施している。

1. 消費者行動実態調査

(1) 調査概要

- 消費者行動実態調査は、川崎市民の買物（消費購買行動）に関する現状・特性を明らかにすると共に、地域商店街の利用実態や意向等を把握し、今後の商業振興策を検討する上での基礎資料とすることを目的として実施した。
- 調査票は「川崎市民のお買物に関するアンケート調査」と題し、川崎市民 5,000 人を対象とした。住民基本台帳ならびに外国人登録者の中から各区の人口割合に応じて無作為抽出することとし、平成 22 年 9 月 1 日の処理データを使用した。
- 平成 22 年 11 月 11 日（木）に調査票を投函し、その 1 週間後に全対象者に対して礼状兼督促状（葉書）を送付。締切日を 11 月 26 日（金）としていたが、集計に間に合う限り遅着分も反映させた。
- 回答票の回収率は全体で 34.3%。標本構成は以下の通りである。

【サンプル属性】

	M1	F1	M2	F2	M3	F3	M4	F4	不明	総計	
	男性35歳未満	女性35歳未満	男性35-49歳	女性35-49歳	男性50-64歳	女性50-64歳	男性65歳以上	女性65歳以上			
川崎区	18 6.4%	29 10.4%	19 6.8%	47 16.8%	38 13.6%	60 21.4%	23 8.2%	38 13.6%	8 2.9%	280	16.3%
幸 区	8 4.0%	21 10.4%	18 8.9%	35 17.3%	20 9.9%	29 14.4%	21 10.4%	42 20.8%	8 4.0%	202	11.8%
中原区	22 7.7%	30 10.5%	32 11.2%	74 26.0%	18 6.3%	46 16.1%	21 7.4%	33 11.6%	9 3.2%	285	16.6%
高津区	14 5.4%	34 13.2%	19 7.4%	57 22.1%	16 6.2%	46 17.8%	31 12.0%	33 12.8%	8 3.1%	258	15.1%
宮前区	7 3.1%	19 8.4%	19 8.4%	51 22.7%	16 7.1%	44 19.6%	32 14.2%	31 13.8%	6 2.7%	225	13.1%
多摩区	12 4.8%	29 11.6%	16 6.4%	54 21.5%	17 6.8%	46 18.3%	28 11.2%	40 15.9%	9 3.6%	251	14.7%
麻生区	6 2.9%	14 6.8%	18 8.7%	48 23.3%	19 9.2%	40 19.4%	21 10.2%	35 17.0%	5 2.4%	206	12.0%
不 明	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	4 66.7%	6	0.4%
総 計	87 5.1%	176 10.3%	142 8.3%	366 21.4%	144 8.4%	311 18.2%	177 10.3%	253 14.8%	57 3.3%	1713	100.0%

(2) 主な調査結果

① 購買行動の特徴

- 「よく行く買物場所」を3つまで選択してもらった結果、10品目を平均すると、川崎市内での購入割合（地元購買率）は67.4%で、「生鮮食品」（84.4%）、「加工食品」（83.4%）、「パン・菓子類」（82.2%）といった食品関係はいずれも80%を超えている。市外流出率は宮前区が44.8%、麻生区が41.5%で共に40%を超えている。一方、川崎区・幸区は市外流出が少ない。
- 「よく行く買物場所」は、全体として食品関係や日用雑貨品では「武蔵溝ノ口駅周辺」、衣料品・服飾品や家電・家具・インテリア、文化品、贈答品といった買回品については「川崎駅ラゾーナ側」、飲食では「川崎駅アゼリア側」が選択される割合が多い。

【市内・市外での購買率】(単位:%)

	市全体		川崎区		幸区		中原区		高津区		宮前区		多摩区		麻生区	
	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外
生鮮食品	84.4	15.6	94.9	5.1	91.7	8.3	90.6	9.4	81.5	18.5	73.2	26.8	81.7	18.3	79.0	21.0
加工食品	83.4	16.6	95.4	4.6	89.9	10.1	88.9	11.1	82.2	17.8	73.5	26.5	82.1	17.9	78.1	21.9
パン・菓子類	82.2	17.8	94.1	5.9	89.7	10.3	85.2	14.8	80.1	19.9	71.6	28.4	80.8	19.2	75.9	24.1
衣料品・服飾品	53.4	46.6	76.3	23.7	66.9	33.1	54.1	45.9	51.4	48.6	33.9	66.1	47.5	52.5	46.3	53.7
家電製品・家具・インテリア	55.9	44.1	82.3	17.7	71.9	28.1	53.7	46.3	57.2	42.8	48.4	51.6	50.0	50.0	31.7	68.3
日用雑貨品	79.7	20.3	91.1	8.9	84.3	15.7	84.3	15.7	78.1	21.9	71.4	28.6	77.3	22.7	70.5	29.5
文化品	60.3	39.7	81.7	18.3	74.3	25.7	65.1	34.9	60.6	39.4	42.7	57.3	54.3	45.7	52.2	47.8
贈答品・プレゼント品	41.5	58.5	71.6	28.4	60.5	39.5	39.2	60.8	39.3	60.7	26.4	73.6	34.1	65.9	30.2	69.8
飲食	61.5	38.5	78.9	21.1	75.3	24.7	64.6	35.4	59.8	40.2	44.6	55.4	62.0	38.0	53.7	46.3
理容・美容	71.9	28.1	82.6	17.4	83.4	16.6	76.7	23.3	71.2	28.8	66.1	33.9	72.1	27.9	67.0	33.0
各項目平均	67.4	32.6	84.9	15.1	78.8	21.2	70.2	29.8	66.1	33.9	55.2	44.8	64.2	35.8	58.5	41.5

【よく行く買物場所の上位(川崎市全体)】

生鮮食品	N=3604	加工食品	N=3329	パン・菓子	N=3414	衣料・服飾	N=3598	家電・家具・インテリア	N=3155
(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
武蔵溝ノ口駅周辺	6.5	武蔵溝ノ口駅周辺	6.5	武蔵溝ノ口駅周辺	6.5	川崎駅ラゾーナ側	8.3	川崎駅ラゾーナ側	10.0
川崎駅ラゾーナ側	6.3	川崎駅ラゾーナ側	6.4	川崎駅ラゾーナ側	6.4	川崎駅アゼリア側	8.0	川崎駅アゼリア側	8.8
新百合ヶ丘駅周辺	5.8	新百合ヶ丘駅周辺	6.2	新百合ヶ丘駅周辺	6.0	武蔵溝ノ口駅周辺	7.9	東京都のその他の商業地区	6.9
川崎駅アゼリア側	4.9	川崎駅アゼリア側	5.3	川崎駅アゼリア側	5.2	新百合ヶ丘駅周辺	7.0	横浜市のその他の商業地区	5.9
武蔵小杉駅周辺	4.8	武蔵小杉駅周辺	4.6	武蔵小杉駅周辺	4.3	東京都のその他の商業地区	5.9	港北ニュータウン	5.8
武蔵新城駅周辺	3.5	武蔵新城駅周辺	3.4	武蔵新城駅周辺	3.4	新宿	4.9	通信販売・宅配など	5.6
元住吉駅周辺	3.2	元住吉駅周辺	3.0	東京都のその他の商業地区	3.0	横浜(駅周辺)	4.9	武蔵溝ノ口駅周辺	5.0
向ヶ丘・登戸駅周辺	3.0	向ヶ丘・登戸駅周辺	3.0	元住吉駅周辺	2.8	たまプラーザ	4.8	梶ヶ谷駅周辺	4.8
武蔵中原駅周辺	2.7	武蔵中原駅周辺	2.7	向ヶ丘・登戸駅周辺	2.8	二子玉川	4.2	新宿	4.2
通信販売・宅配など	2.6	東京都のその他の商業地区	2.5	武蔵中原駅周辺	2.7	渋谷	4.2	平地区(ヤマダ・ローゼン付近)	3.2
東京都のその他の商業地区	2.2	その他の場所・店舗(市内)	2.3	その他の場所・店舗(市内)	2.5	通信販売・宅配など	4.0	渋谷	2.9
横浜市のその他の商業地区	2.1	横浜市のその他の商業地区	2.1	横浜市のその他の商業地区	2.3	港北ニュータウン	3.1	新百合ヶ丘駅周辺	2.9
その他の場所・店舗(市内)	2.1	鷺沼駅周辺	2.1	たまプラーザ	2.2	武蔵小杉駅周辺	3.1	横浜(駅周辺)	2.8
鷺沼駅周辺	2.1	たまプラーザ	2.0	二子玉川	2.1	町田(駅周辺)	2.8	川崎市外のその他の場所・店舗	2.4
港北ニュータウン	1.8	鹿島田駅周辺	1.9	鷺沼駅周辺	2.0	横浜市のその他の商業地区	2.6	港町・旭町・伊勢町地区	2.4
鹿島田駅周辺	1.8								
大師地区	1.8								
日用雑貨品	N=3277	文化品	N=3113	贈答品・プレゼント品	N=3219	飲食(外食)	N=3353	理容・美容	N=2304
(%)	(%)	(スポーツ・レジャー・玩具)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
武蔵溝ノ口駅周辺	7.2	川崎駅ラゾーナ側	9.5	川崎駅ラゾーナ側	8.7	川崎駅アゼリア側	7.9	東京都のその他の商業地区	7.7
川崎駅アゼリア側	6.2	川崎駅アゼリア側	8.5	二子玉川	8.2	川崎駅ラゾーナ側	7.2	武蔵溝ノ口駅周辺	6.9
新百合ヶ丘駅周辺	6.2	武蔵溝ノ口駅周辺	7.7	川崎駅アゼリア側	8.0	武蔵溝ノ口駅周辺	7.1	川崎駅アゼリア側	5.9
川崎駅ラゾーナ側	5.6	新百合ヶ丘駅周辺	6.6	新宿	7.0	東京都のその他の商業地区	6.4	新百合ヶ丘駅周辺	4.6
武蔵小杉駅周辺	4.3	東京都のその他の商業地区	5.5	武蔵溝ノ口駅周辺	6.6	新百合ヶ丘駅周辺	5.7	武蔵小杉駅周辺	3.9
東京都のその他の商業地区	3.3	港北ニュータウン	4.6	横浜(駅周辺)	6.6	二子玉川	3.9	武蔵新城駅周辺	3.4
武蔵新城駅周辺	3.3	新宿	4.0	東京都のその他の商業地区	5.9	たまプラーザ	3.4	元住吉駅周辺	3.4
元住吉駅周辺	3.1	通信販売・宅配など	3.9	たまプラーザ	5.8	新宿	3.3	川崎駅ラゾーナ側	3.3
通信販売・宅配など	3.1	渋谷	3.8	渋谷	5.1	渋谷	3.3	向ヶ丘・登戸駅周辺	3.1
向ヶ丘・登戸駅周辺	2.6	武蔵小杉駅周辺	3.3	新百合ヶ丘駅周辺	4.7	横浜(駅周辺)	3.0	渋谷	3.0
横浜市のその他の商業地区	2.5	たまプラーザ	3.2	通信販売・宅配など	3.9	港北ニュータウン	3.0	横浜市のその他の商業地区	2.9
その他の場所・店舗(市内)	2.3	横浜市のその他の商業地区	2.8	銀座	3.3	武蔵小杉駅周辺	2.8	特に買物しない	2.5
武蔵中原駅周辺	2.3	二子玉川	2.7	町田(駅周辺)	3.3	その他の場所・店舗(市内)	2.8	川崎市外のその他の場所・店舗	2.3
大師地区	2.1	横浜(駅周辺)	2.4	港北ニュータウン	2.9	横浜市のその他の商業地区	2.7	鷺沼駅周辺	2.3
鷺沼駅周辺	1.9	町田(駅周辺)	2.0	横浜市のその他の商業地区	2.1	向ヶ丘・登戸駅周辺	2.3	武蔵中原駅周辺	2.2
港北ニュータウン	1.9							その他の場所・店舗(市内)	2.2

②住んでいる地域で不便なこと

- 住んでいる地域で不便なことや気になる点を訊ねると、全体で 22.1%が「日常の買い物に不便」を感じている。特に麻生区（31.6%）、高津区（28.3%）においてその割合が高く、中原区（13.7%）では買物不便な状況は比較的少なめである。

【地域の不便なこと、気になる点】

	川崎区 N= 280		幸区 N= 202		中原区 N= 285		高津区 N= 258		宮前区 N= 225		多摩区 N= 251		麻生区 N= 206		不明 N= 6		市全体 N= 1713	
日常の買い物に不便	47	16.8%	41	20.3%	39	13.7%	73	28.3%	53	23.6%	60	23.9%	65	31.6%	1	16.7%	379	22.1%
医院や病院への通院に不便	23	8.2%	21	10.4%	21	7.4%	27	10.5%	34	15.1%	33	13.1%	39	18.9%	0	0.0%	198	11.6%
交通事故にあいそうで心配	22	7.9%	23	11.4%	40	14.0%	51	19.8%	18	8.0%	19	7.6%	24	11.7%	0	0.0%	197	11.5%
交通機関が使いにくい、または整備されていない	12	4.3%	13	6.4%	12	4.2%	20	7.8%	25	11.1%	27	10.8%	17	8.3%	0	0.0%	126	7.4%
近隣道路が整備されていない	9	3.2%	9	4.5%	19	6.7%	27	10.5%	11	4.9%	18	7.2%	22	10.7%	0	0.0%	115	6.7%
散歩に適した公園や道路がない	38	13.6%	27	13.4%	37	13.0%	51	19.8%	33	14.7%	38	15.1%	37	18.0%	2	33.3%	263	15.4%
図書館や集会施設などの公共施設が不足	34	12.1%	21	10.4%	64	22.5%	60	23.3%	51	22.7%	57	22.7%	40	19.4%	1	16.7%	328	19.1%
集会施設、役所、商店など公共的建物が使いにくい	18	6.4%	22	10.9%	16	5.6%	28	10.9%	35	15.6%	24	9.6%	17	8.3%	1	16.7%	161	9.4%
その他	26	9.3%	21	10.4%	36	12.6%	28	10.9%	30	13.3%	21	8.4%	32	15.5%	0	0.0%	194	11.3%
特にない	116	41.4%	68	33.7%	92	32.3%	57	22.1%	64	28.4%	77	30.7%	52	25.2%	1	16.7%	527	30.8%

③商店街の不満または利用しない理由

- 地域の商店街を利用する人には「不満を感じる点」、利用しない人には「利用しない理由」を訊ねると、「品揃えが少ない」（23.4%）、「店舗数が少ない」（22.5%）、「欲しい業種がない」（16.1%）などが指摘された。
- 特に「品揃えが少ない」というのは幸区（30.2%）、多摩区（27.9%）などに多い。「店舗数が少ない」は麻生区では 30.6%となっており、麻生・宮前・高津区においては「店舗数が少ない」ことが第1位の指摘事項でもある。

【商店街の不満または利用しない理由】

	川崎区 N= 280		幸区 N= 202		中原区 N= 285		高津区 N= 258		宮前区 N= 225		多摩区 N= 251		麻生区 N= 206		不明 N= 6		市全体 N= 1713	
時間・曜日が合わない	19	6.8%	10	5.0%	17	6.0%	10	3.9%	5	2.2%	19	7.6%	7	3.4%	0	0.0%	87	5.1%
品揃えが少ない	73	26.1%	61	30.2%	60	21.1%	44	17.1%	35	15.6%	70	27.9%	55	26.7%	2	33.3%	400	23.4%
割高感がある	46	16.4%	32	15.8%	30	10.5%	26	10.1%	25	11.1%	39	15.5%	31	15.0%	1	16.7%	230	13.4%
センスが合わない	25	8.9%	19	9.4%	18	6.3%	16	6.2%	15	6.7%	25	10.0%	17	8.3%	0	0.0%	135	7.9%
商品等の情報が足りない	22	7.9%	13	6.4%	6	2.1%	12	4.7%	11	4.9%	14	5.6%	10	4.9%	0	0.0%	88	5.1%
品質等が信用できない	10	3.6%	11	5.4%	5	1.8%	9	3.5%	4	1.8%	7	2.8%	7	3.4%	0	0.0%	53	3.1%
店構えや雰囲気など入りにくい	19	6.8%	18	8.9%	16	5.6%	10	3.9%	14	6.2%	21	8.4%	7	3.4%	0	0.0%	105	6.1%
サービスが悪い	7	2.5%	11	5.4%	6	2.1%	6	2.3%	3	1.3%	8	3.2%	2	1.0%	0	0.0%	43	2.5%
店舗数が少ない	58	20.7%	53	26.2%	51	17.9%	46	17.8%	50	22.2%	62	24.7%	63	30.6%	2	33.3%	385	22.5%
欲しい業種がない	42	15.0%	41	20.3%	48	16.8%	36	14.0%	36	16.0%	35	13.9%	37	18.0%	1	16.7%	276	16.1%
行きにくい	9	3.2%	8	4.0%	11	3.9%	13	5.0%	14	6.2%	10	4.0%	13	6.3%	0	0.0%	78	4.6%
通りを歩きにくい	14	5.0%	11	5.4%	29	10.2%	24	9.3%	2	0.9%	11	4.4%	18	8.7%	0	0.0%	109	6.4%
商店街の雰囲気が悪い	7	2.5%	15	7.4%	6	2.1%	8	3.1%	0	0.0%	10	4.0%	8	3.9%	0	0.0%	54	3.2%
買物以外で過ごせない	15	5.4%	15	7.4%	26	9.1%	15	5.8%	11	4.9%	19	7.6%	16	7.8%	1	16.7%	118	6.9%
子どもが遊べない	3	1.1%	4	2.0%	7	2.5%	2	0.8%	2	0.9%	4	1.6%	6	2.9%	0	0.0%	28	1.6%
家族連れで楽しめない	7	2.5%	8	4.0%	7	2.5%	5	1.9%	0	0.0%	10	4.0%	5	2.4%	0	0.0%	42	2.5%
商店街が存在しない	10	3.6%	7	3.5%	11	3.9%	19	7.4%	24	10.7%	9	3.6%	20	9.7%	1	16.7%	101	5.9%
その他	17	6.1%	2	1.0%	11	3.9%	7	2.7%	5	2.2%	7	2.8%	7	3.4%	1	16.7%	57	3.3%
特にない	37	13.2%	15	7.4%	43	15.1%	28	10.9%	19	8.4%	26	10.4%	12	5.8%	1	16.7%	181	10.6%

④商店街に期待する取り組み

- 地域の商店街が魅力的な存在となるために期待できる取り組みを3つまで選択してもらった。全体で最も多いのは「商店街環境の整備」（38.9%）、次いで「商店街の一体的なサービス」（34%）、「空き店舗の対策・活用」（22.9%）、「高齢社会への対応」（21.4%）などが挙げられた。

- 特に「商店街環境の整備」は高津区（47.3%）、麻生区（42.7%）、多摩区（42.2%）などで多く挙げられ、麻生区ではさらに40.3%が「商店街の一体的なサービス」を期待している。「空き店舗の対策・活用」は中原区（27%）、川崎区（26.1%）などで挙げられている。
- また、宮前区や川崎区では「地域ブランドの開発」に期待する声も比較的ある。
- 「高齢社会への対応」は、特にM4層（男性65歳以上）・F4層（女性65歳以上）では38%超の回答があり、「子育て支援の実施」についてはF1層（女性35歳未満）の36.4%、男性でもM1層（男性35歳未満）の25.3%が期待する取り組みとなっている。
- また、M3層（男性50-64歳）の25.7%、M1層（男性35歳未満）の24.1%などに「情報の発信」を期待する声もある。

【商店街が魅力的な存在となるために期待する取り組み】

区別	川崎区		幸区		中原区		高津区		宮前区		多摩区		麻生区		不明		市全体	
	N= 280		N= 202		N= 285		N= 258		N= 225		N= 251		N= 206		N= 6		N= 1713	
地域貢献イベントの開催	54	19.3%	39	19.3%	45	15.8%	47	18.2%	40	17.8%	45	17.9%	35	17.0%	0	0.0%	305	17.8%
商店街の一体的なサービス	95	33.9%	56	27.7%	102	35.8%	75	29.1%	85	37.8%	85	33.9%	83	40.3%	1	16.7%	582	34.0%
商店街環境の整備	93	33.2%	67	33.2%	119	41.8%	122	47.3%	71	31.6%	106	42.2%	88	42.7%	0	0.0%	666	38.9%
情報の発信	40	14.3%	31	15.3%	44	15.4%	46	17.8%	37	16.4%	63	25.1%	40	19.4%	2	33.3%	303	17.7%
環境問題・エコ対策の実施	25	8.9%	23	11.4%	28	9.8%	36	14.0%	19	8.4%	25	10.0%	21	10.2%	0	0.0%	177	10.3%
地域ブランドの開発	54	19.3%	27	13.4%	50	17.5%	37	14.3%	45	20.0%	43	17.1%	24	11.7%	2	33.3%	282	16.5%
地域資源の活用	34	12.1%	21	10.4%	30	10.5%	27	10.5%	19	8.4%	37	14.7%	24	11.7%	1	16.7%	193	11.3%
高齢社会への対応	56	20.0%	53	26.2%	51	17.9%	58	22.5%	44	19.6%	49	19.5%	53	25.7%	2	33.3%	366	21.4%
子育て支援の実施	27	9.6%	26	12.9%	39	13.7%	33	12.8%	26	11.6%	28	11.2%	20	9.7%	0	0.0%	199	11.6%
空き店舗の対策・活用	73	26.1%	51	25.2%	77	27.0%	56	21.7%	38	16.9%	55	21.9%	43	20.9%	0	0.0%	393	22.9%

性別年齢層別	M1 男性		F1 女性		M2 男性		F2 女性		M3 男性		F3 女性		M4 男性		F4 女性		(再掲)	
	35歳未満		35歳未満		35-49歳		35-49歳		50-64歳		50-64歳		65歳以上		65歳以上		市全体	
	N= 87		N= 176		N= 142		N= 366		N= 144		N= 311		N= 177		N= 253		N= 1713	
地域貢献イベントの開催	21	24.1%	39	22.2%	28	19.7%	76	20.8%	34	23.6%	41	13.2%	25	14.1%	32	12.6%	305	17.8%
商店街の一体的なサービス	34	39.1%	75	42.6%	52	36.6%	152	41.5%	54	37.5%	97	31.2%	49	27.7%	55	21.7%	582	34.0%
商店街環境の整備	38	43.7%	74	42.0%	72	50.7%	160	43.7%	64	44.4%	105	33.8%	59	33.3%	76	30.0%	666	38.9%
情報の発信	21	24.1%	37	21.0%	24	16.9%	52	14.2%	37	25.7%	57	18.3%	25	14.1%	36	14.2%	303	17.7%
環境問題・エコ対策の実施	8	9.2%	12	6.8%	14	9.9%	38	10.4%	9	6.3%	42	13.5%	17	9.6%	32	12.6%	177	10.3%
地域ブランドの開発	18	20.7%	28	15.9%	35	24.6%	69	18.9%	32	22.2%	62	19.9%	16	9.0%	19	7.5%	282	16.5%
地域資源の活用	16	18.4%	19	10.8%	27	19.0%	32	8.7%	26	18.1%	29	9.3%	18	10.2%	16	6.3%	193	11.3%
高齢社会への対応	4	4.6%	12	6.8%	14	9.9%	45	12.3%	38	26.4%	76	24.4%	68	38.4%	98	38.7%	366	21.4%
子育て支援の実施	22	25.3%	64	36.4%	16	11.3%	50	13.7%	8	5.6%	16	5.1%	7	4.0%	13	5.1%	199	11.6%
空き店舗の対策・活用	24	27.6%	39	22.2%	37	26.1%	91	24.9%	36	25.0%	88	28.3%	24	13.6%	47	18.6%	393	22.9%

2. 商店街等業種構成調査

(1) 調査概要

- 商店街等業種構成調査は、平成 22 年 10 月から翌年 2 月までの期間、新規雇用の調査員が商店街等を中心とする商業集積地（商業集積エリア）を現地踏査し、視認によって収集したデータを整理した。
- 調査方法は、平成 14 年度の商業地図データベース作成事業におけるエリア設定を基本としてエリアの追加、範囲の見直しを行い、全 255 エリアを調査対象とし、指定範囲内のすべての店舗（店舗総数 19,834 件）の業種や営業状況（空き店舗化の有無）を調査員が記録してデータを取りまとめた。

※今回調査ではエリアの追加や範囲の見直し、調査・集計方法の変更なども行い、調査対象店舗としての判断を各調査員の主観にゆだねるところもあるため、必ずしも同じ基準で前回調査（H14）との比較等はやむを得ない。

(2) 主な調査結果

① 営業店舗の状況

- 調査店舗数は川崎市全体（商業集積エリア全体）で 19,834 件であり、前回調査の結果と単純に比較すると 204 件の増加であるが、営業店舗だけを見ると合計 283 件の減少である。
- 最も店舗数の多い川崎区では営業店舗数で 298 件の減少となり、最も少ない麻生区では営業店舗数で 312 件の増加である。麻生区では、新規店舗の立地も見られるようだが、今回調査では大型店内のテナント（専門店）を個別にカウントしていることも理由として考えられる。
- 前回調査以降、ミューザ川崎が竣工し、新たにラゾーナのオープンによってエリアを一つ新規追加した幸区では 108 件（営業店舗数で 37 件）の増加となっている。
- 多摩区における 81 件の減少（営業店舗数 106 件減）は、区画整理事業等による環境の変化、中原区での 30 件の減少（営業店舗数 160 件減）は、マンション等への建替えや調査時点でビル建替え工事中の物件等もあったことなども影響している

【調査結果】

			川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区	市全体
H14	合計	件	6,525	2,226	4,154	1,861	1,423	2,452	989	19,630
	・営業店舗	件	6,087	2,051	3,947	1,764	1,361	2,332	966	18,508
	・非営業店舗、詳細不詳	件	438	175	207	97	62	120	23	1,122
H22	合計	件	6,424	2,334	4,124	1,882	1,357	2,371	1,342	19,834
	・営業店舗	件	5,789	2,088	3,787	1,790	1,267	2,226	1,278	18,225
	・非営業店舗、詳細不詳	件	635	246	337	92	90	145	64	1,609
増減	合計	件	△ 101	108	△ 30	21	△ 66	△ 81	353	204
	・営業店舗	件	△ 298	37	△ 160	26	△ 94	△ 106	312	△ 283
	・非営業店舗、詳細不詳	件	197	71	130	△ 5	28	25	41	487

②分類別の調査結果

- 市全体での増減を業種分類別に見てみると、「物販」が 653 件の減少となる一方、「サービス・娯楽」が 1,035 件の増加となった。
- 特に「物販」の減少が多いのは中原区（280 件減）、多摩区（166 件減）などであり、麻生区では上述の理由もあって 135 件増となっている。
- 「サービス・娯楽」の店舗は全区で増加しているが、中でも中原区（265 件増）、川崎区（206 件増）などで増加件数が多い。
- 今回調査で確認された「非営業店舗」は 1,557 件であり、前回よりも 435 件の増加となった。「非営業店舗」は特に川崎区（168 件増）、中原区（127 件増）などで増加数が目立つ。

【分類別の調査結果】

	川崎区			幸区			中原区			高津区		
	H14	H22	増減	H14	H22	増減	H14	H22	増減	H14	H22	増減
生鮮三品	144	95	△ 49	75	54	△ 21	96	63	△ 33	37	22	△ 15
スーパー	40	39	△ 1	18	15	△ 3	35	35	0	19	14	△ 5
コンビニ	83	71	△ 12	30	29	△ 1	57	49	△ 8	42	35	△ 7
物販	1,809	1,654	△ 155	717	701	△ 16	1,262	982	△ 280	533	447	△ 86
飲食	2,412	2,125	△ 287	569	557	△ 12	1,273	1,169	△ 104	529	509	△ 20
サービス・娯楽	1,599	1,805	206	642	732	90	1,224	1,489	265	604	763	159
非営業店舗	438	606	168	175	246	71	207	334	127	97	87	△ 10
詳細不明	0	29	29	0	0	0	0	3	3	0	5	5
合計	6,525	6,424	△ 101	2,226	2,334	108	4,154	4,124	△ 30	1,861	1,882	21

	宮前区			多摩区			麻生区			市全体		
	H14	H22	増減	H14	H22	増減	H14	H22	増減	H14	H22	増減
生鮮三品	37	9	△ 28	53	45	△ 8	18	18	0	460	306	△ 154
スーパー	14	21	7	19	19	0	11	11	0	156	154	△ 2
コンビニ	37	35	△ 2	49	44	△ 5	21	23	2	319	286	△ 33
物販	422	337	△ 85	743	577	△ 166	287	422	135	5,773	5,120	△ 653
飲食	321	284	△ 37	618	575	△ 43	243	270	27	5,965	5,489	△ 476
サービス・娯楽	530	581	51	850	966	116	386	534	148	5,835	6,870	1,035
非営業店舗	62	88	26	120	133	13	23	63	40	1,122	1,557	435
詳細不明	0	2	2	0	12	12	0	1	1	0	52	52
合計	1,423	1,357	△ 66	2,452	2,371	△ 81	989	1,342	353	19,630	19,834	204

③エリアのタイプ別の調査結果

- 川崎市商業振興ビジョン（平成 21 年 3 月）における拠点のタイプごとの位置づけを踏まえ、今回の「商業集積エリア」の調査結果を再集計してみる。
- 非営業店舗や詳細不明物件を除く営業店舗ベースで見ると、超広域拠点および広域拠点の 2 つのタイプは、それぞれの合計で前回調査値よりも 465 件、395 件の増加となっている。超広域拠点の 2 地区は、特に「物販」の店舗増が見られる。
- 他のタイプの拠点の営業店舗数はいずれも減少しており、中でもコミュニティ拠点は 1,000 件を超える減少となった。地域拠点は幸区合計と麻生区合計の 2 つでプラスであるが、コミュニティ拠点はいずれの区も合計値が減少。特に川崎区合計が 434 件減、幸区合計が 288 件減などとなっている。

【拠点タイプ別の調査結果】

		生鮮三品	スーパー	コンビニ	物販	飲食	サービス・ 娯楽	営業店舗 小計	非営業店 舗	詳細不明	合計
超広域拠点 合計	H14	27	14	38	763	1,417	863	3,122	146	0	3,268
	H22	26	11	40	1,077	1,369	1,064	3,587	216	19	3,822
	増減	△ 1	△ 3	2	314	△ 48	201	465	70	19	554
川崎駅東口周辺地区	H14	12	11	31	621	1,290	712	2,677	126	0	2,803
	H22	11	7	32	766	1,189	850	2,855	158	19	3,032
	増減	△ 1	△ 4	1	145	△ 101	138	178	32	19	229
川崎駅西口周辺地区	H14	15	3	7	142	127	151	445	20	0	465
	H22	15	4	8	311	180	214	732	58	0	790
	増減	0	1	1	169	53	63	287	38	0	325
広域拠点 合計	H14	26	22	32	672	871	871	2,494	104	0	2,598
	H22	24	15	26	782	865	1,177	2,889	134	1	3,024
	増減	△ 2	△ 7	△ 6	110	△ 6	306	395	30	1	426
小杉・新丸子駅周辺地区	H14	12	8	10	331	453	378	1,192	60	0	1,252
	H22	7	7	6	277	407	471	1,175	88	1	1,264
	増減	△ 5	△ 1	△ 4	△ 54	△ 46	93	△ 17	28	1	12
溝口・高津駅周辺地区	H14	14	10	17	277	323	355	996	42	0	1,038
	H22	11	4	13	258	333	459	1,078	40	0	1,118
	増減	△ 3	△ 6	△ 4	△ 19	10	104	82	△ 2	0	80
新百合ヶ丘駅周辺地区	H14	0	4	5	64	95	138	306	2	0	308
	H22	6	4	7	247	125	247	636	6	0	642
	増減	6	0	2	183	30	109	330	4	0	334
地域拠点 合計	H14	4	1	4	60	87	68	224	13	0	4,987
	H22	3	1	3	33	78	75	193	36	0	5,007
	増減	△ 1	0	△ 1	△ 27	△ 9	7	△ 31	23	0	20
川崎区合計	H14	3	1	2	40	63	39	148	6	0	154
	H22	2	0	2	18	57	42	121	26	0	147
	増減	△ 1	△ 1	0	△ 22	△ 6	3	△ 27	20	0	△ 7
幸区合計	H14	5	4	6	121	124	133	393	17	0	4,110
	H22	4	2	8	94	151	172	431	23	0	454
	増減	△ 1	△ 2	2	△ 27	27	39	38	6	0	44
中原区合計	H14	55	17	28	616	627	611	1,954	93	0	2,047
	H22	37	21	24	489	612	731	1,914	150	1	2,065
	増減	△ 18	4	△ 4	△ 127	△ 15	120	△ 40	57	1	18
高津区合計	H14	9	3	10	92	67	102	283	9	0	292
	H22	3	4	13	60	65	126	271	19	2	292
	増減	△ 6	1	3	△ 32	△ 2	24	△ 12	10	2	0
宮前区合計	H14	7	4	13	150	122	299	595	3	0	598
	H22	1	6	14	110	108	318	557	20	1	578
	増減	△ 6	2	1	△ 40	△ 14	19	△ 38	17	1	△ 20
多摩区合計	H14	27	9	20	351	288	389	1,084	52	0	1,136
	H22	20	10	23	282	262	427	1,024	67	4	1,095
	増減	△ 7	1	3	△ 69	△ 26	38	△ 60	15	4	△ 41
麻生区合計	H14	5	2	6	100	83	144	340	10	0	350
	H22	1	3	8	75	87	184	358	18	0	376
	増減	△ 4	1	2	△ 25	4	40	18	8	0	26
コミュニティ拠点 合計	H14	264	72	144	2,435	1,900	1,964	6,779	606	0	7,385
	H22	160	76	112	1,784	1,516	2,124	5,772	800	19	6,591
	増減	△ 104	4	△ 32	△ 651	△ 384	160	△ 1,007	194	19	△ 794
川崎区合計	H14	108	25	43	947	903	735	2,761	257	0	3,018
	H22	68	30	31	692	726	780	2,327	370	10	2,707
	増減	△ 40	5	△ 12	△ 255	△ 177	45	△ 434	113	10	△ 311
幸区合計	H14	55	11	17	454	318	358	1,213	138	0	1,351
	H22	35	9	13	296	226	346	925	165	0	1,090
	増減	△ 20	△ 2	△ 4	△ 158	△ 92	△ 12	△ 288	27	0	△ 261
中原区合計	H14	29	10	19	315	193	235	801	54	0	855
	H22	19	7	19	216	150	287	698	96	1	795
	増減	△ 10	△ 3	0	△ 99	△ 43	52	△ 103	42	1	△ 60
高津区合計	H14	14	6	15	164	139	147	485	46	0	531
	H22	8	6	9	129	111	178	441	28	3	472
	増減	△ 6	0	△ 6	△ 35	△ 28	31	△ 44	△ 18	3	△ 59
宮前区合計	H14	30	10	24	272	199	231	766	59	0	825
	H22	8	15	21	227	176	263	710	68	1	779
	増減	△ 22	5	△ 3	△ 45	△ 23	32	△ 56	9	1	△ 46
多摩区合計	H14	15	5	16	160	83	154	433	41	0	474
	H22	11	5	11	124	69	167	387	34	3	424
	増減	△ 4	0	△ 5	△ 36	△ 14	13	△ 46	△ 7	3	△ 50
麻生区合計	H14	13	5	10	123	65	104	320	11	0	331
	H22	11	4	8	100	58	103	284	39	1	324
	増減	△ 2	△ 1	△ 2	△ 23	△ 7	△ 1	△ 36	28	1	△ 7
テーマ型拠点 合計	H14	32	8	20	433	403	420	1,316	76	0	1,392
	H22	28	6	16	349	397	505	1,301	84	5	1,390
	増減	△ 4	△ 2	△ 4	△ 84	△ 6	85	△ 15	8	5	△ 2
大師地区	H14	21	3	7	201	156	113	501	49	0	550
	H22	14	2	6	178	153	133	486	52	0	538
	増減	△ 7	△ 1	△ 1	△ 23	△ 3	20	△ 15	3	0	△ 12
登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区	H14	11	5	13	232	247	307	815	27	0	842
	H22	14	4	10	171	244	372	815	32	5	852
	増減	3	△ 1	△ 3	△ 61	△ 3	65	0	5	5	10

3. 来街者アンケート調査

(1) 調査概要

① 調査実施地区

- 川崎市商業振興ビジョン（平成21年3月）におけるタイプ区分に基づき、商店街を中心とする地区14か所を対象とした。各地区では、新規雇用の調査員がインタビュアーとなり、来街者への聞き取り・回答の記入を行った。

【対象地区とサンプル数】

タイプ	地区	サンプル数	実施日
超広域拠点	川崎駅東口周辺	115	平成22年12月3日
	川崎駅西口周辺	121	平成22年12月3日
広域拠点	武蔵小杉駅周辺	112	平成22年12月16・17日
	武蔵溝ノ口駅周辺	124	平成22年11月29日
	新百合ヶ丘駅周辺	113	平成22年12月8・9日
地域拠点	梶が谷駅周辺	114	平成22年12月1・2日
	鷺沼駅周辺	128	平成22年11月24日
	柿生駅周辺	116	平成23年1月11日
コミュニティ拠点	桜本地区	110	平成22年12月10日
	小倉地区	102	平成22年12月6日
	有馬地区	115	平成22年12月1・2日
	長沢地区	112	平成22年12月9日
テーマ型	大師地区	105	平成22年12月10・16日
	生田緑地(登戸・向ヶ丘遊園地区)	109	平成23年1月13日
総計		1,596	—

② 調査項目

- 各地区共通の項目として、目的・消費金額・頻度などまちの利用状況、商店街の評価、満足度のほか、地区のタイプごとに課題を踏まえた方向性を訊ねる個別項目を設定した。

(2) 主な調査結果

① 来訪目的

- 全般的に、「買い物」を目的とする来訪者が最も多く、次に「サービス」となっている。「買い物」の内訳は、いずれの地区も「食品」、「日用品」が多くなっているが、川崎駅西口周辺では「ファッション」、川崎駅東口周辺では「飲食」を目的とした来訪が多い。

② 消費金額

- 当日の予定も含む消費金額は、物品購入に関しては「1000円以上3000円未満」、飲食代に関しては「500円以上1000円未満」及び「1000円以上3000円未満」が多くなっている。

③買い物の仕方

- 各地区の商店街での買い物の仕方は、全般的に「よく行く 1, 2 店舗だけ」との回答が多く、梶が谷、柿生、桜本、長沢などの地域拠点やコミュニティ拠点では、「よく行く 1, 2 店舗だけ」との回答が7割～8割と高くなっているのに対し、川崎駅東口、溝の口などの超広域拠点、広域拠点では、4割～7割程度である。

④機能・雰囲気・情報・生活に係る評価

- 機能、雰囲気、情報、生活に関して、「買い物のしやすさ」については川崎駅西口、溝の口、「買い物以外の機能」や「歩きやすさ」については川崎駅西口、「安心感、安全性」及び「景観・環境の良さ」では新百合ヶ丘、「まちの情報の充実度」は桜本、川崎駅西口、「イベント・催しの充実度」については川崎駅西口、「生活に密着した便利さ」については、武蔵小杉、新百合ヶ丘、川崎駅西口、川崎駅東口などの評価が高い。

⑤満足度

- 総合的な満足度は、川崎駅西口では8割以上が「満足」（5段階評価のうち「非常に満足」「まあまあ満足」の合計）と回答。溝の口、新百合ヶ丘でも7割が「満足」としている。

⑥今後の取り組みの方向性について

《超広域拠点》

- 川崎駅西口及び東口の連携については、「環境・エコ対策への取り組み」や「買い物の町としての便利なサービスの提供」が挙げられた。「国際化への対応」や「統一イメージ作り」に関しては、川崎駅西口側の方での回答割合が東口側よりも高い。

《広域拠点型》

- まちのブランド力向上に向けた取り組みについては、すべての地区で「快適に買い物ができるような環境整備が必要」との回答が7割を超えている。

《地域拠点》

- 賑わいを創出するための取り組みとしては、「商業の充実」が必要との回答が多く、特に梶が谷における回答は9割と高い。柿生では「ハード面の環境整備」を必要とする声が多い。

《コミュニティ拠点》

- 商店街が地域住民に身近な存在として機能し続けるために、「空き店舗解消などによる賑わいづくり」、「高齢社会への対応」、「生鮮三品など基本的な商業の充実」などが必要とされている。また、今後「生活に必要な物販・サービス店」を必要とする回答も多い。

《テーマ型》

- 身近な観光スポットと連携した商店街の活性化のために、「観光スポットとの共同イベントの開催」や「観光ガイド、回遊マップ作成などの情報発信」が必要とされている。
- 大師地区では「独自の特産物・土産物などの共同開発」、「外国人観光客への対応の強化」、生田緑地では「商店街内への観光スポット（見どころ）の開設」などが必要とされた。

4. 商店街課題解決支援事業

(1) 事業目的

- 商店街課題解決支援事業は、商店街が現在抱えている様々な課題に対応するため、補助員を派遣し、課題の解決を図り、商店街の活性化に資することを目的としている。

(2) 事業の流れ

① 商店街の公募

- 川崎市内商店街に対して本事業実施の案内及び公募を行い、希望する商店街に対して補助員の派遣を行った。

② 商店街との事前打合せ

- 事務局担当者が商店街に赴き、商店街担当者と打合せを行った。打合せにおいては、本事業の主旨や活動を支援するにあたっての条件等を説明したほか、商店街側から説明を受け、当日の補助員の活動内容、活動時間等を決定した。その後、事務局において商店街との打合せ内容（補助員の活動内容・条件、留意事項等）をまとめた確認書を作成し、後日、商店街側に提示・確認を行った。

③ 補助員との事前打合せ

- 補助員の派遣に際しては、派遣する補助員との打合せを行い、活動内容を説明・確認した。

④ 商店街への派遣

- 派遣当日は、原則、事務局担当者が補助員を引率し、現地において商店街担当者と打合せを行うことで改めて作業内容等の確認を行った。

参考1) 派遣先商店街の応募・決定・実施までの流れ

平成 22 年

8 月下旬 川崎市商業観光課より各商店街への募集案内

9 月中旬 募集締め切り

～9 月下旬 派遣先商店街の検討

9 月下旬 商店街への結果通知

9 月下旬～ 商店街との打合せ（補助員の活動内容等の確認）

順次 各商店街への補助員派遣の実施

参考2) 補助員の派遣

平成 22 年

9 月上旬 求人開始（以降、順次採用）

※ハローワーク及びキャリアサポート（川崎市）を活用

(3)実施概要

- 21 団体に対して補助員を派遣した。実施期間は、12 月 20 日までとなっているが、当初の応募段階において希望があった団体に関しては、商店街及び補助員との調整の上、極力商店街の希望に沿うようにした。その結果、一部団体に関しては 12 月 26 日までとなっている。

【実施団体一覧】

NO	団体名	派遣人数(人)	派遣日
1	フェスティバルなかわさき実行委員会	3~5	10/2・3・9・10・16・17・30・31
2	かわさき阿波踊り実行委員会	8	10/2
3	モトスミオズ通り商店街振興組合	4	10/3
4	鹿島田駅前商店会	3 2	10/4~12/20(週3日) 10/24
5	モトスミ・プレーメン通り商店街振興組合	2	10/5、11/2、12/7
6	たちばな通商店街振興組合	1	10/16・17
7	川崎砂子会協同組合	2	10/16・17
8	東田商店街協同組合	2	10/16・17
9	川崎銀座商業協同組合	1	10/16・17
10	新城南口商店街	4	10/19
11	カワサキハロウィンプロジェクト委員会	3~7	10/23・24・31
12	新丸子東栄会	2	10/23・24
13	鹿島田商店会	4	10/23
14	登戸東通商店会	2	10/30
15	川崎市商店街連合会(溝の口駅前商店街振興組合、さぎ沼商店会、宮崎台駅前商店会)	5	10/26・27、11/22
16	溝の口駅前商店街振興組合	5	11/3
17	合同会社 表参道	5~6	11/7・14、12/12
18	有馬川わいわい祭実行委員会	4	11/7
19	川崎銀柳街商業協同組合	3	12/4~26
20	新城商店街連合会	2	12/6~20
21	稲田堤振興会	2	12/23・25・26

※同一団体においても、派遣日によって派遣人数が異なる場合がある。

